

大和町部活動地域展開に関する Q&A

更新日：令和8年5月21日

Q1：部活動はすぐになくなってしまおうのですか？

A1：いいえ、すぐに全てがなくなるわけではありません。

国の指針に基づき、休日については段階的に地域クラブ活動へ移行することを目指していますが、移行期間中は学校部活動と地域クラブ活動が並行して活動する時期もあります。急に今の部活動がなくなることはありませんのでご安心ください。

Q2：地域展開されると、今の部活動はどうなるのですか？

A2：地域資源を活用しながら、より持続可能な活動を目指します。

少子化の影響で、学校単位では人数不足などにより活動維持が難しくなっている部活も増えています。これを「地域全体で支える仕組み」に変えることで、これまで通り、あるいはそれ以上に子どもたちが安心してスポーツや文化芸術活動を楽しめる環境を整えていきます。

Q3：地域クラブ活動には、誰でも入れるのですか？

A3：地域に開かれた活動として運営していきます。

学校の垣根を越えた仲間との出会いや、多世代との交流など、地域ならではの新しい価値を創出することを目指しています。また、経済的に困窮する世帯への支援など、誰もが参加しやすい環境づくりに努めていきます。

Q4：今後の計画や詳細はどこで確認できますか？

A4：町のホームページで随時お知らせします。

説明資料、質問内容、検討状況などについては大和町のホームページにて公開いたします。ご不明な点やご質問がございましたら、ホームページ上の窓口からお寄せください。いただいたご質問には、順次回答を掲載させていただきます。

Q5：地域クラブ活動に参加する場合、費用はどのくらいかかりますか。

A5：活動の維持に必要な実費のご負担をお願いすることを想定していますが、可能な限り低廉な金額となるよう検討しております。また、家庭の経済状況によって体験格差が生じることがないように、経済的に困窮する世帯の生徒への支援制度についても、国の方針に基づき対応を検討してまいります。

大和町部活動地域展開に関する Q&A

Q6：活動場所はこれまでと同じ学校の施設を使えますか。

A6：地域クラブ活動においても、地域のスポーツ・文化資源を最大限活用していく方針です。学校施設については、放課後や休日における利用の調整を行いながら、子どもたちがこれまでと同じ場所で、安全に安心して活動を継続できるよう連携を図っていくことを想定しております。

Q7：地域クラブ活動の指導者はどのような人になりますか。

A7：適切な指導が提供できるよう、指導体制の整備を検討しております。これまで部活動に関わっていただいた教職員の方々や、地域の専門家、スポーツ・文化芸術団体の指導者など、幅広い人材にご協力をいただきながら、安全・安心な指導環境の構築を目指してまいります。

Q8：複数の学校の生徒と一緒に活動することになりますか。

A8：少子化が進む中でも子どもたちの活動機会を確保するため、学校の垣根を越えた合同活動も選択肢の一つとして想定しています。これにより、これまで実施が難しかった種目でも活動の場を確保するなど、子どもたちにとって活動の幅が広がる環境を目指してまいります。

Q9：地域クラブ活動に移行した後の安全管理や保険はどうなりますか。

A9：活動中の万が一の事態に備え、適切な保険の活用などを検討してまいります。また、指導者に対しても安全管理や不適切行為の防止に関する研修を実施するなど、保護者の皆様に安心していただけるような運営体制の確立に努めてまいります。

Q10：地域移行後、部活動の窓口（責任の所在）はどこになるのか？

A10：学校が継続する平日の部活動については学校が責任を持ちます。休日の地域クラブ活動については、町が母体となる団体をまとめる役割を担います。

何か問題が生じた場合は、町を通じて対応・調整を行う体制を想定しています。

また、学校側からも「こういったクラブがあります、参加しませんか」という情報提供を行っていく予定です。

※ 詳細な責任体制については、現在も検討中の部分があります。

大和町部活動地域展開に関する Q&A

Q11：地域クラブの活動内容や競技種目は、生徒が自由に選べるのか？

A11：生徒が自分で選んで参加する形を想定しています。

同じ競技を行う団体が複数ある場合でも、どちらの団体にも参加できる体制を整えることが望ましいと考えています。

Q12：移行期間中も「部活」としての活動は続けられるのか？

A12：部活動はまだ残っています。

移行期間中は、学校の部活動と地域クラブ活動が並走する形で進んでいきます。すぐに部活がなくなるわけではなく、段階的に移行していく予定です。

Q13：地域移行後も、町は関与し続けるのか？

A13：町は関与しないということではありません。

町が地域クラブの母体となる団体をまとめ、学校・地域・町が連携しながら、地域の皆さんで持続可能な体制を構築していくことを目指しています。

Q14：吹奏楽や文化部の地域移行はどのように進めるのか？

A14：スポーツ系の部活動だけでなく、吹奏楽を含む文化部についても地域移行を検討しています。文化部はそれぞれ活動内容が異なるため、一律ではなく個別に検討し、指導していただける方と連携しながら進めていく方針です。

Q15：楽器などの備品はどうなるのか？自分で購入しなければならないのか？

A15：学校にある楽器は町の財産として位置づけており、生徒に引き続き使用してもらうことを想定しています。

無理に購入を求めることは考えておらず、学校備品をどのように活用していくかについては、今後クラブの関係者とヒアリングを重ねながら検討していきます。

Q16：地域クラブとして成立するかどうかの判断はどのように行うのか？

A16：「やりたい」「続けるべき」という声を大切にしながら、クラブごとに個別にヒアリングや協議を重ねて判断していきます。課題（指導者の確保・備品・運営体制など）を一つ一つ丁寧に整理し、クラブとして成立できるかどうかを見極めていく方針です。